

「した。要請書
一知事や19市長
として名を連ね

健康×ギョーザ 続々と市場投入

信榮食品

冷凍ギヨークサ創造の信玄品(松本市)は、「健康を切り口にした新商品のギヨーザの市場投入に力を入れている。高野豆腐を使った低脂質・高タンパクの商品や、認知症の改善効果が期待されるという東南アジア原産の「ジャワしよう」をを使った商品を

低脂質や高タンパク

食事配慮の需要応え



高野豆腐の粉末を使った「マッスルギョーザ」

百の手取りが減る
一の問題も解決が
務省の調査では、
ルバイトの女性の
上が就業調整をし
貞が上がつても働
るため年収は増え
足にあえぐ事業者
労働力が目減りし
政府は対策案をま
効性は不透明だ。
め方を巡る異論は
本年度まで政府が
相次いで開発。健康意識の高
い消費者の需要をつかむ
と、固定概念に縛られない商
品作りを推進している。
た。
ヨーザに近い味わいを実現し
・ニンニクを入れて通常のギ
食事配慮の需要
低脂質や高タンパク


・マルケン

「ブランド立ち上げ
チーズや菓子開発など構想

日、こうじを使って開発した商品を展開する新ブランド「ハナマルキ醸造 麺 研究室」(略称HANAMARKE)を立ち上げ、商品販売を始めたと発表した。みそにごま油らず、こうじを使ったチーズの販売も計画し、高級即席みそ

効率性は不透明だ。
め方を巡る異論は
本年度まで政府が
示した「時給内」
中の根拠が薄
い消費者の需要を「かもう」と、固定概念に縛られない商
品作りを推し進めている。
高タンパクで低脂質の「マ
ッスルギョーザ」を2010年から展開している同社。こ
れまでの豚肉の代わりに大豆
を使った菜食主義者向けの離乳
食や、女性をメインターゲットにした「ラ・ニンニンガッ
ト」(商品名)など、開拓者としての開拓意欲が窺える。
「表示食品」になつた。商品に
含まれる大豆由来のタンパク質
「大豆ベータコングレニシニゲン」には、肥満気味の人の体
質に対する一定の効果があるとされ
ていて、この点で注目される。

血中中性脂肪をそれをそれ以上高めさせる機能が報告されていることの表示を包装に記載。このギヨーヌを1白10個食べる大豆ペータコンクリシニンを2・3粒摂取でき、表示の効果が期待できるという。

百の手取りが減る
「の問題も解決が
務省の調査では
ルバイトの女性の
上が就業調整をし
眞が上がつても働く
るため年収は増え
足にあえぐ事業者
労働力が目減り」
政府は対策案をま

12個入り（オープン価格）で
順次販売する。

コメ作況 県内「平年並み」
西日本は日照不足影響

23年産予測

県内情報リンク

★高見沢が期末配当予想を上方修正
高見沢（長野市）は7日、2023年6月期末の年間配当予想を上方修正した。22年8月公表の1株につき25円から50円に修正（前期は25円）。県内の護岸工事などの公共工事が進んだことや、新型コロナが落ち着き電設資材の受注が増えたことが要因。

<p>101の「平年並み」になるとの予測を発表した。22年産米の実績は100で同水準を見通し。天候に恵まれた地域があつた一方で、西日本を中心には6~7月に日照不足が生じ、全体として平年並みを見込んだ。</p>	<p>長野県の作況指数は100の「平年並み」と見込んだ。予想収穫量は前年比200増の18万1400㌧。県や農協グループなどでつくる農業再生協議会が昨年11月に決めた適正生産の「目安値」など28府県で指数が99~101の「平年並み」だった。</p>
<p>17万6705㌧を上回って、</p>	<p>△ ◇</p>

エラン 売上高12.4%増 6月中間期

エラン（松本市）は7日、タオルを貸し出す主力サー
2023年9月中間期の連結 決算を発表した。高齢化が進
む中、入院患者や介護施設の 売上高は前年同期比12・4
入所者らに日額定額で衣類や 増の197億8100万円

こうじパウダ」（業務用開けた独創的な商品包装や、字や英語を取り入れたロゴ品）を22年に開発。こうじを使った商品展開にはさらなる可能性があると判断し、新アーランドで開発を強化する。食生活が多様化する中、既存事業と新事業を両立させる「両利きの経営」（花岡俊夫会員）を進める。

今年は、和食が国連教育科で手がけ、ECサイトの他

まずは新ブランドの商品として、全国味噌鑑評会で農水産大臣賞を受賞した「田みそ」など高級みそ3点をラインナップで販売開始。製造いずれも伊那工場（伊那市）で手がけ、ECサイトの他

こうじパウダ」（業務用開けた独創的な商品包装や、字や英語を取り入れたロゴ品）を22年に開発。こうじを使った商品展開にはさらなる可能性があると判断し、新アーランドで開発を強化する。食生活が多様化する中、既存事業と新事業を両立させる「両利きの経営」（花岡俊夫会員）を進める。

今年は、和食が国連教育科で手がけ、ECサイトの他

・1%増の18億13円、純利益は6・4%増の5300万円だった。
23年12月期の売上高比20・5%増の437億円で、常利益は6・1%増の千500万円、純利益は20・25億円で変更している。

昇りはない。増の12%は前回の円、36億円の0%

の定期便の就航を
昌連携による観光
が86・5%だつ
た。ついで引き下げる電車
たいという意識があると分
析する。
互いの見を訪問したいと
ねた設問で、「したい」は長
手56・1%

卷之三



・マルケン